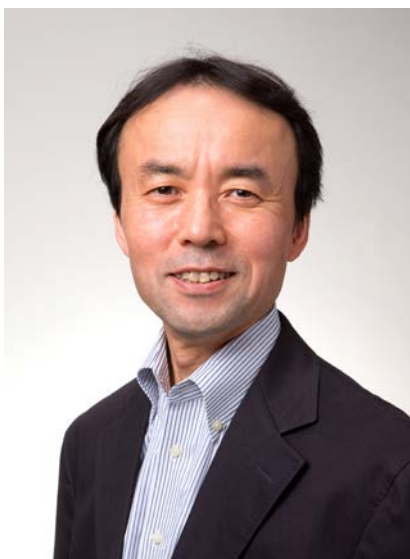


## 理事



金沢大学医薬保健研究域・医学系で神経解剖学を担当しております堀と申します。この度、日本神経化学会の理事を拝命致しました。

私は、平成元年に医学部を卒業し、しばらくの間、臨床の教室で脳梗塞や高血圧の患者さんの診療に当たらせて頂きました。しかし、次第に虚血ストレス、更にそれに対する脳内細胞の応答に興味を持つようになり、卒後10年を経た頃、基礎の教室に移り、じっくり実験を行わせて頂くことに致しました。そして、特に脳内のストレス応答のキープレーヤーではないかと考えていたアストロサイトに注目して、その神経保護作用、組織修復作用などについて研究を進めてまいりました。基礎に移って10年目の平成21年、現在の教室を担当させて頂くこととなり、その後、病態時のみならず正常発達時のアストロサイトの機能にも注目し、主に培養アストロサイトやモデルマウスを用いて研究を行っております。

これまで私は周囲の様々な方のお世話になりながら、比較的のんびり、人生を歩ませていただいたと考えております。そんな私ですので初めは日本神経化学会大会にも時々参加させて頂く程度だったのですが、各方面の先生方と研究についてはもちろん、研究者を取り巻く環境や若手の育成などについて意見交換をさせていただき、大変勉強になりました。そして、本学会が若手研究者の育成に大変尽力されていることに幾度となく感銘を受けました。実際、私どもの教室員も本学会の若手育成セミナーなどで大変お世話になっております。今回、本学会の理事を拝命し、まさに身の引き締まる思いではありますが、少しでも小泉修一理事長をはじめ執行部の先生方、さらには会員の皆様のお役に立てるよう、そして一人でも多くの若い研究者の方が神経化学に興味を持っていただけるように微力ですが尽力させて頂く所存であります。会員の皆様におかれましては、何卒、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

金沢大学医薬保健研究域医学系 神経解剖学 堀 修